

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立吉和中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「自分たちの現状・課題と向き合い解決しよう。決めようクラスの授業〇箇条」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に集中できず、私語を繰り返している。 ○ 授業をする教員により態度を変える。 ○ 自分から課題を解決しようとせず、教員に答えを求めたり、言われないとやらなかったりする。 ○ 行事や吉中太鼓に積極的に取り組み、本気の姿勢を見せる生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの課題と向き合い解決しようとする生徒。 ○ 吉中太鼓でみせる生徒の姿を授業や学校生活の他の場面でも発揮できる生徒。 ○ 活動の臨める環境を自ら作る生徒。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちで授業のルールを決め、自分ごととして改善する意識と責任感を醸成する。 ・ 自分たちでルールを作ることで、自分たちが過ごしやすい環境を自分たちで守る意識を育む。 ・ 1・2年生は次の学年に上がる前の準備として、自覚ある行動を促すため、3年生は卒業までの過ごし方を意識し、最後まで成長しようとする姿を後輩に示すために実施する。

取組の流れ・創意工夫・生徒の姿容等

<p>＜事前指導・職員間での共有＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に学校生活を振り返り課題意識をもたせるために、事前アンケートを通じて自己評価させる。 ・ 職員間での意識統一のために、生徒が決めた授業のルールを教員全員で支援することを確認する。 <p>＜本時の流れ＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事前アンケート（授業準備、ベル着、授業への集中、私語、立ち歩き、整理整頓、ペア・班活動、言葉遣い）の内容を確認し、自分たちのクラスに対する課題意識をもたせ、課題の方向づけを行う。 ② 守られるルールではなく、自分から守ろうと思うルールづくりを行うために、「このままの状態では次の学年を迎えても大丈夫？」「それまでに自分たちにできることはない？」と疑問を投げかけることで、生徒自身にルールを決める必要性に気づかせる。 ③ クラスの良い点・課題点をそれぞれ考える。 ④ ③で出た意見や事前アンケートの結果から、班ごとに課題を解決するためのルールとそのルールを作る理由をホワイトボードにまとめる。「静かに」「私語×」「聞く態度」というキーワードが多く見られた。【自己決定の場の提供】 ⑤ ④の意見を確認し、自分たちのクラスに必要なルールやキーワードを選ばせる。選ぶルールの数は決めないが、必ず守ろうと意識できるものに焦点化する。 <p>＜事後指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒集会で授業のルール〇箇条を発表し、多学年からの刺激や目標への責任感をもたせる。 ・ 作ったルールを教室掲示し、教員が常に生徒たちへ意識させる。 ・ 作ったルールが守れているかを授業ごとにチェックカードに記録し、HRなどでクラスへのフィードバックを行う。 	<p>＜自分たちで考えたルールと理由＞</p>
--	-------------------------

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールづくりを通じて、周りに流されていた生徒たちが自分の行動を見直し、より良い学校生活を送ろうとする意識が向上した。 ● 自分たちで作ったルールを徹底的に守り切ることや、ルールをアップデートすることなど、より良くしていこうとする姿勢を継続する必要がある。 ● 行事や吉中太鼓とも結びつけた活動に発展させていく必要がある。
--